

電響社

多様な家電製品など紹介

都内で新製品商談会開催

家電卸の電響社(大阪市浪速区、藤野博社長)は24、25日、グループ3社共催による家電や雑貨の新製品商談会「2017 電響社グループ商談会」を東京流通センター(東京都大田区)で開催。

「こだわりを感じるゆとりライフ」をテーマに、家電メーカー60社、日用品・雑貨メーカー40社がブースを出展し、家電から雑貨まで多様な新製品を紹介した。

同社の新製品商談会は、毎年春と秋に開催し、大手家電量販店の幹部らが訪れている。今回は2日間、188社・553人が来場した。

会場に入っただけの企画・提案コーナーでは、テーマに沿ってこだわり



の新製品をまとめて展示。ワインセラーや衣類

自社ブランド「ゼビル」では脱衣所ヒーターの新製品をメインで紹介した。

スチーマー、デザイン性に優れた捕虫器など、バラエティに富んだ製品を紹介した。

自社ブランド「ZEPHEAL(ゼビル)」の専用コーナーでは、使い勝手を向上させた脱衣所ヒーターの新製品を提案。

従来品ではリモコンで操作できる反面、本体の電源を入れてからリモコンが使えるという状況だったが、2・1層の有線コードで本体とリモコンをつなげることで、離れたところからも電源のオン/オフや、強弱操作ができるようになった。

「リモコンはマジックテープで壁にも貼り付けられる。ユーザーの声を反映して使いやすくした」(同社)。

ほかにも、設置スペースを取らない小型オープントースターを提案。季節商材や調理家電の提案を行った。

出展した家電メーカーでは、シー・シー・ピー(東京都台東区)の電動ブラシ掃除機「マホウキ」のほか、累計10万台の販売を突破した回転モップクリナーを紹介。

石崎電機製作所(東京都台東区)のグミメーカー、SHIMADA(滋賀県東近江市)のオシャレな捕虫器「ルイクス」など、ユニークな商材を提案した。